

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：管財課
担当名：ファシリティマネジメント担当
内線：2582 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
P28	ワークエンゲージメント向上オフィス推進事業				一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理営繕事業費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠 法令	なし				針路 分野施策	08 0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsゴール SDGsターゲット	8, 16 8-8, 16-6
1 事業概要 県庁がデジタルを活用した働きやすい職場環境であることで、職員のワークエンゲージメントが向上し、質の高い県民サービスを提供できることから、業務内容に応じて場所を自ら選択して働くこと（ＡＢＷ）ができる執務環境の整備を行い、働き方改革を推進する。 事務費の節約による減額 △996千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ワークエンゲージメント向上オフィス推進事業 89,450千円 → 88,454千円 ア フリーアドレスエリアの設置 第二庁舎の複数課をオープン化の上、原則自由席とし、スマートフォンの貸与、位置把握アプリを導入する。 また、効率的に業務を行える高集中ブース、プロジェクト型業務の打合せや他課の職員と気軽に相談ができるコラボレーションスペースを設置するなど、業務に応じて働く場所を選択できる執務室を整備する。 イ 地域機関版ワークラウンジの整備 地方庁舎(2か所)の共用会議室にソロワークスペースやコラボレーションスペースなどを整備し、ペーパーレス化や業務プロセス改革を進めるための空間を創出する。 (2) 事業計画 ア コンサルティング業務委託の発注 イ 対象課所を交えたレイアウトの検討 ウ 運用及び効果検証 (3) 事業効果 従来の執務環境改善に係る事業では課内におけるコミュニケーションや業務効率の向上など、効果が限定的であったのに対し、職員の位置情報把握やスマホ内線の活用によって、部局間を跨ぐ、より広いエリアで本格的なフリーアドレスの運用が可能となり、固定席に捉われない多様なワークスタイルの実践や偶発的な出会いによるコミュニケーションの活発化などが図られる。 これにより、働きやすい職場が実現され、職員のワークエンゲージメントが向上し、質の高い県民サービスを提供できる。 【活動指標(アウトプット)】 固定席に捉われず働くことができる執務環境の提供 【成果指標(アウトカム)】 対象課所へのアンケートにおける職員の働きやすさの指標40%増(地域機関は20%増) (4) その他 当事業での効果検証を踏まえ、未来のＤＸオフィスを目指し、県庁舎再整備等の検討に活かしていく。 (5) 補正予算の概要 ア ワークエンゲージメント向上オフィス推進事業 事務費の節約による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費 9,500千円×1.0人＝9,500千円 (2) 組織の新設 なし (3) 改廃及び増員 なし											
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△996								△996	88,454	
現計額	89,450								89,450		

事業内訳書

事業名	ワークエンゲージメント向上オフィス推進事業		
単位事業名	ワークエンゲージメント向上オフィス推進事業	予算額	△ 996千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△996	—	
合計	△996	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△714	—	事務費節減による減額
役務費	△282	—	事務費節減による減額
合計	△996	—	